

③ 敬老事業 未実施の町内会等のアンケート結果

R5.11.30時点

回答があった町内会数→ 105

(1) 今年度、敬老会の開催、記念品の贈呈ともに予定をされていない理由（複数選択可）

	件数	
A 町内会の事業計画、当初予算に計上されていない	75	71.4%
B 敬老対象者の把握や、お知らせ、案内通知に不安がある	36	34.3%
C 敬老対象者が多く、会場確保が難しい	7	6.7%
D 協力員などの人員不足	34	32.4%
E その他（記入： （抜粋）地区町内会総会に一任している 参加希望者がいない、参加者が少ない。 老人クラブなどで行っている。 本来は市のものであり、町内会に丸投げはおかしい 何をすればよいかわからない 世帯数少数なため、見合わせている 移動、歩行等に無理がある 事業の周知が早ければ対応できた 市主催、名簿提供が不可なのは理解できるが、敬老祝意をどう表すか再考 願いたい 老人クラブ行事、町内会行事の日程調整が難しい 農作業等が忙しく、行事等を行うことは難しい 対象者が多く、協力員が少ない。 市主催の敬老会が良かった	30	28.6%

(2) 町内会長や役員、協力団体等、実施主体の意見、要望

	件数	
(主な回答) 補助金額の増額	3	2.9%
申請の簡略化や個人情報等取扱いについての説明	5	4.8%
対象者名簿や情報の提供(町内会長のみでも)	9	8.6%
対象となる範囲の拡大(入所者や70歳以上など)	1	1.0%
補助事業の継続	1	1.0%
その他	41	39.0%
(抜粋) 市が主催となり実施してほしい		
対象者が少ない、開催を特に望んでいない		
婦人会がない、協力員が不足している		
商品券を記念品としたい		
町内会ではなく個人にアンケートを取るべき		
高齢者世帯ばかりで、敬老会の必要性を感じない		
独自に何かできないか検討中		
他町内の記念品品目を教えてください		
周辺町内会の動向を見ながら決定したい		
事業内容を広く周知してほしい		
実施、未実施、記念品の品目など不公平感がある		
市でやるべき		
記念品補助の増額		
補助申請、手続きの簡素化できないか		
夏季は忙しいので、冬季の開催を考えてほしい		
町内会、老人クラブ等、複数の合同開催に弾力的な補助をしてほしい		
市が記念品を贈呈してほしい		
コロナも薄れてきたので、支所地域の全体で開催。		
協力員の負担が多い事業。世話しきれない。		
敬老会をわかる人がいない。市が記念品配布してほしい。		
企画、計画できない町内に対して、何らかの選択メニューが欲しい。		
出来る町内と、出来ない町内がある。市が主体となってほしい。		
市の委託事業として、町内会に名簿とともに配布も委託してはどうか。		

(3) 敬老者の方々からの、意見、要望

- (主な回答) 是非実施してほしいなど
実施しなくともよい、会には参加したくないなど
今まで通り敬老名簿が欲しい
その他
- (抜粋) やってほしい、やらなくていい、どちらの声もある
食料品(弁当等)がありがたい
記念品のみいただきたい
他では実施しているのに、地元では実施していない
市からの記念品が良い
足腰が弱く敬老会は行けないが、記念品は頂きたい。
記念品だけでも実施してほしい
集まりが楽しいのであって、記念品だけ頂いてもなあ

件数	
6	5.7%
7	6.7%
5	4.8%
23	21.9%

(4) 令和6年度の取組(見込み)について

- A 市の補助事業を活用し、敬老会を開催したい
B 市の補助事業を活用し、記念品を贈呈したい
C その他 (記入:
(抜粋) 予定していない
市で主催すべき
次期総会で検討
市からの贈呈であれば配布に協力したい
老人クラブ運営の補助金に充てたい
できれば、補助金を贈呈したい。
対象者把握ができていない

件数	
31	29.5%
10	9.5%
51	48.6%